

「数字」で読み解く

# 中小型株の世界

日本編  
Vol.2

EPS\*成長率予想

\*EPS：1株当たり利益

小型株

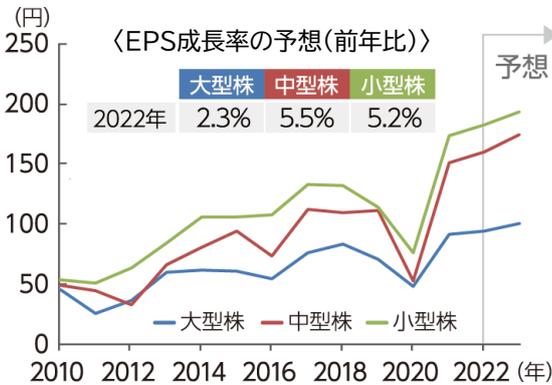
5.2%

※2022年3月16日時点

## 数字で読み解く“5.2”

EPSとは企業がどれだけの利益をあげているかを判断する指標で、その伸び率が高いほど企業の成長性が高いといえます。2022年末のEPS成長率予想は小型株が5.2%、中型株が5.5%と、大型株の2.3%を上回ると予想されています。

【EPSの推移】



※期間:2010年～2023年(年次)、2022年以降はブルームバーグが集計した予想値(2022年3月16日時点)  
※大型株はTOPIX100、中型株はTOPIX Mid400、小型株はTOPIX Smallを使用  
出所:ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

高い成長率

## なぜ、中小型株に注目するの？

中小型株は、新しいビジネスやサービスの提供等により業績が大きく向上することがあり、大型株より高い成長が期待できる銘柄が存在します。提供しているサービスが注目され、10年間で株価が10倍になった企業もあります。楽天、DeNAなども昔は小型株と呼ばれる規模からのスタートでした。

一方、中小型株は業績が安定しないこともあり、株価の変動が激しいことには注意が必要です。

### 投資信託なら

ファンドマネジャーの  
目利き力と分析力



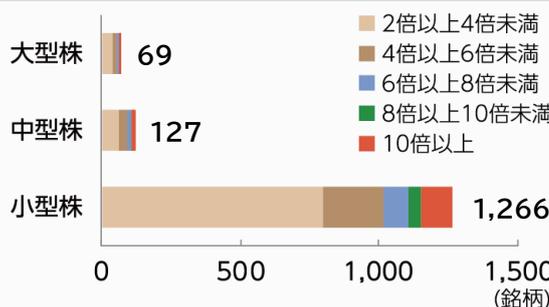
分散効果でリスクを抑えた  
資産運用が可能

## (Topic)

10年間で時価総額が2倍以上になった企業数は中小型株あわせて1,400銘柄に迫ります。

10倍以上になった企業も存在します。

【10年間で時価総額が2倍以上になった企業数】



※2012年1月末時点と2022年1月末時点の時価総額を比較して算出  
※大型株：TOPIX100、中型株：TOPIX Mid400 (Russell/Nomura Small Cap インデックスの構成銘柄を除く)、小型株：TOPIX Small、Russell/Nomura Small Cap インデックス、東証第二部株価指数、JASDAQ INDEX、東証マザーズ指数の構成銘柄を使用しています。  
出所:ブルームバーグおよびファクトセットのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券(REIT)などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料: 上限3.85%(税込)

換金時手数料: 換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額: 上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬): 上限年率2.09%(税込)

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料: 上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用(上限額等を含む)を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【指数の著作権等】

TOPIX100、TOPIX Mid400、TOPIX Small は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

## 【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
  2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

220316JS数字で読み解く中小型株の世界②